

平成 25 年度ウミガメ保護監視事業（環境省 MW 事業） 結果報告

1. 事業実施団体

NPO 法人屋久島うみがめ館

2. 事業内容

① 永田浜ウミガメ観察ルールの普及啓発及び利用実態調査

場所：四ツ瀬浜

期間：5月28日～8月31日（期間中の30日間）

時間：19:30～23:30（4時間）

人数：2人程度

② ウミガメの救出活動

場所：いなか浜、前浜、四ツ瀬浜

期間：5月28日～8月23日（88日間）

時間：約2時間

人数：1～3人程度

3. 結果

① 永田浜ウミガメ観察ルールの普及啓発及び利用実態調査

1) 利用者の動向

- ・利用者数は12人（うち観光客10人）。
- ・昨年と比較して、利用者は大幅に減少（104人減少）。
- ・ウミガメ観察会が周知され、観光客がいなか浜や前浜に集中して訪れるようになり、四ツ瀬浜の利用者が減少した。
- ・19:30～20:00までの利用者が半数を占めた（6人）。
- ・ガイドや地元の方が、観察ルールを知った上で観光客を連れてきていた。

2) 不適切な利用

- ・19:30以降の利用者に対し観察ルールの説明を行ったところ、6人の利用者に「浜の立入りをご遠慮いただいていること」に協力して頂けなかった。

②ウミガメの救出活動

1) 救出頭数

- ・救出したウミガメは15頭（いなか浜：9頭、前浜：3頭、四ツ瀬浜：3頭）。

2) 事故の原因と頭数

- ・岩場に嵌る…………… 9頭
- ・砂浜の川（溝）に嵌る…………… 2頭
- ・人工構造物（護岸や突堤）から仰向けに落下…………… 3頭
- ・砂山を登れない（前浜）…………… 1頭

3) 特記事項

- ・いなか浜において、風の影響により砂が移動し岩場が露出したことで、岩場に嵌ったウミガメが8頭いた。
- ・前浜においては、今年度は消波ブロックが露出しなかったため、消波ブロックに嵌ったウミガメはいなかった。